

会議結果報告書

令和元年6月14日

会議の名称	志木市文化財保護審議会
開催日時	令和元年5月17日(金)午後3時40分～6時40分
開催場所	志木市役所 3階 301会議室
出席委員	井上國夫委員、高橋豊委員、深瀬克委員、上野守嘉委員 新田泰男委員 (計 5人)
欠席委員	なし (計 人)
説明員職氏名	生涯学習課 原田課長、武井主査、徳留主任 (計 3人)
議題	(1) 平成30年度文化財保護関係事業報告について (2) 令和元年度文化財保護関係事業計画について (3) その他
結果	(1) について審議した結果、継続的に保護をすすめることとした。 (2) について審議した結果、承認された。 (3) について周知した。 (傍聴者 0人)
事務局職員	柚木教育長 生涯学習課 原田課長、武井主査、徳留主任

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開 会

2 あいさつ

3 議事

(1) 平成30年度文化財保護関係事業報告について

〈説明員〉

平成30年度文化財保護関係事業について資料により説明。

〈質疑応答等〉

委員) 過去の発掘調査で、まだ調査報告書が出ていないものがある。特に人面土器の出土した地点は、発掘調査から何年もたっている。大変すばらしいもので、富士見市では同様なものが県の指定になっている。文化財の担当者の配置が適正なのか。近隣市と比べて、十分なのか。志木市は、文化財のことがおろそかにされてきたのではないか。担当の人が苦勞しているのはわかっている。担当の数が十分なのか。学芸員の制度もなく、郷土資料館にも専門職を置かずに、会に委ねている。ぜひ、教育長になんとかやっていただけないかお願いしたい。古文書の保管についての建議書に関することも見解をいただけたら。

教育長) 報告書のごとは、以前に教育長であったときにも話題になっていた。報告しなければならぬものがあることは、わかっている。いろいろな事情で残っていることは承知している。早く作成していかなくてはと思っている。学芸員は、置いていないが、資格者はいる。県も本庁勤務者は発令していない。博物館に置く職。実質的には、3人おり埋蔵文化財の担当である。このことについては、教育委員会の中で考えていくべきこと。現状の中で職員は頑張っている。行政改革の中で断言はできない。文化財保護の重要性は認識しており、考えていかなくてはと思っている。

事務局) 発掘調査は、個人住宅は国庫補助事業。民間の開発については、委託を受けて市が実施し、工期を明確に区切って行う。大規模なものは業者委託している。遺跡調査会の時に実施した調査の報告書が出ていないものがある。大きな調査が多いが、現在の発掘調査に追われているため中々出せないでいる。少しずつは出している。

委員) 民間の発掘、国庫補助事業の発掘の報告でいっぱいということか。

事務局) スケジュールがあり、優先度高い。事業計画を作成し、課内の承認を得て進めている。

委員) 埋蔵文化財保管センター、中学生を見学に行かせている。だれかはいのシステムをつくるべき。退職した人などで、計画していくべきではないか。

委員) 古文書の保管についての建議への見解をおたずねしたい。

教育長) 庁舎の中には、現時点では難しい。

委員) 郷土資料館について、公共施設適正配置計画に上がっているが、その後の進捗はどうか。

事務局) 整備を進めるために、資料の現状を把握するため、11月まで、整理作業を行っている。

委員) 具体的な場所は今後の課題か。

事務局) 整理作業について予算がついて、計画的に進めている。進捗について今後報告する。

委員) 快哉堂の利用団体1件はどんな団体か。

事務局) 福祉関係の団体である。

委員) 文書の寄贈者はどんな人か。

事務局) 以前志木市に住んでいて、富士見市に転居した人である。

委員) 快哉堂2回の剪定を行っているようだが、田子山富士塚の維持管理について、もっと補助を増やせないのか。

事務局) 予算に関わるものなので、即答できないが、検討する。

(2) 令和元年度文化財保護関係事業計画について

<説明員>

令和元年度文化財保護関係事業計画について資料により説明。

<質疑応答等>

委員) 収蔵資料の整理及び目録作成について、会社はどこか。

事務局) アルケーリサーチである。

委員) いつごろまでに行うのか。

事務局) 11月下旬を予定している。

委員) 文化財パトロールは台風の後などに見に行く形のようなのだが、中学校で環境ボランティアとして、標札の掃除などしている。そういう取り組みをしている学校がある。文化財のサポーター的システムを作ったほうが良いのではないか。

委員) 練馬区で組織しているようである。

委員) さいたま市にもあるようである。

委員) 先日、見学会を行ったが、市内の説明板がきれいになっていて、驚いた。

委員) 木が伸びているところがあった。

事務局) 確認します。

委 員) 文化財講座は2回なのか。

事務局) 今年度2回、今後は未定。

委 員) 講師をさがすのが、大変なようである。

委 員) 予算の関係なのか。

事務局) そうではありません。

(3) その他

○ 文化財保護法の改正内容について 資料により説明

○ 今後保護進めるべき文化財について 資料により説明

〈絵馬の調査について〉

委 員) 確認調査を進めましょう。

事務局) ずっと取り組めずにいて申し訳ないが、現在の状況では、今年度に絵馬に取り組むのは難しい状況である。

委 員) 郷土資料館の資料整理が終わってからということですね。

4 報告事項

○ 田子山富士塚の松の切り株の除去について

5 閉 会